

クマとの 向き合い方を 考える



各地でクマ被害が増え、さまざまな声が聞こえます。クマとの向き合い方を考える上で大切なのは、まずクマがどういう生きもので、今、クマが暮らす環境で何か起きているかを知ることです。今回は、ツキノワグマの研究者である小池伸介氏を講師に迎え、クマの現状、生態について学び、クマとの共存のあり方について皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

◆シリーズ 130 「クマとの向き合い方」について学ぶ全 1 回コース◆

2026/10/15 (木)
18:30 - 20:00
オンラインセミナー

クマとの向き合い方を考える

講師：小池伸介（東京農工大学大学院教授／日本クマネットワーク代表）

※“NACS-J 市民カレッジ（略称：N カレ）”は、日本自然保護協会（NACS-J）に集う各分野のスペシャリストが講師を務めるオープンカレッジです。

■形式：オンラインセミナー

※ zoom ウェビナーを利用します。参加方法の詳細いご案内は、お申し込み後にお送りします。

■対象：NACS-J 会員（法人会員社員の方を含む）

■定員：150 名 ※先着順

■参加費：無料

■申込先：以下 WEB フォームよりお申し込みください。

講師紹介

こいけ しんすけ

小池 伸介

東京農工大学大学院教授／
日本クマネットワーク代表



東京農工大学大学院教授、
日本クマネットワーク代
表。専門は生態学。ツキノワグマの生態や森林での
生きもの同士のつながりを研究対象としている。著
書に『クマは都心に現れるのか』（扶桑社／2026年）、
監修に『さまようクマ、変わる森』（昭文社／2026
年）など

< URL > <https://x.gd/J21Kc>

< TEL > 03-3553-4101 < E-mail > n-college@nacsj.or.jp
日本自然保護協会（NACS-J）N カレ担当